



## 「2020年度営業関係施策(その4)について」提案を受ける!!

地本は1月8日に会社より「2020年度営業関係施策(その4)」の提案を受けました。今回の提案では、これまでの営業関係施策(その1)～(その3)の提案の考え方に、「ICTの進展による利便性の向上、業務実態の変化を踏まえた販売体制の見直し及びダイヤ改正に伴う輸送体系の変化に応じた駅業務体制の見直しを行う」が加わりました。

箇所名	内容	標準数増減	実施日
水道橋駅	販売体制の見直し(出札閉鎖)	営業△6	2021年 3月13日
品川駅	湘南ライナー終了に伴う体制の見直し	営業△7	
五反田駅	販売体制・管理体制の見直し(出札閉鎖)	助役△1、営業△5	
金町駅	販売体制・管理体制の見直し(出札閉鎖)	助役△1、営業△2	

### (組合)

- ・ 提案について、お客さまの流動やご利用実態、駅の特情など、**具体的データをもって根拠を示すべきだ!**
- ・ 収入確保・効率的な働き方など、**社員が働きがいを持って施策を担えるように丁寧な対応を要請する!**
- ・ 人ならではの仕事や創造的な業務とは企画業務だけでは無く、**接客も重要な業務**である!
- ・ 今後、申し入れを行い施策実施に向け必要な労使議論を行っていく!

### (会社)

- ・ 発券量が毎年10%程度減っており、**機械などを活用し、なるべく人手を介さない販売体制**を目指していく。
- ・ 駅の選定に関し、**具体的に示せるデータは無いが検証した結果**であり、お客さまのご利用実態も変化してきている。

また、業務委託箇所における見直しについて、説明を受けました。

箇所名	内容	実施日
東京駅	湘南ライナー終了に伴う案内業務の見直し	2021年3月13日
秋葉原駅	昭和通り口出札閉鎖	
品川駅	南乗換口MV移設による案内業務の見直し	
大井町駅	東口改札IC専用化	2021年3月1日

会社は変革のスピードアップの下に様々な施策を実施していますが、箇所の特情やお客さまのご利用状況が伴わなければなりません。特に出札窓口は、指定席券売機で対応できないお客さまのために残していくべきです。また、ご利用の多い駅に対しては、出札窓口を活用して増収施策を行っていくべきです。地本は職場の皆さんの声をもとに、団体交渉に臨んでいきます!